

埼玉県障害者スポーツ協会だより



Saitama Adapted Sports Association

第13号 2009(平成21)年1月 埼玉県障害者スポーツ協会 発行

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124 埼玉県大宮合同庁舎3F

TEL048(650)0170 FAX048(650)0171

ホームページ <http://www3.point.ne.jp/~enjoysports/>

知事あいさつ

埼玉県知事
埼玉県障害者スポーツ協会名誉会長
上田 清司

未来へ羽ばたく
～埼玉から日本の未来を創る`源動力`発信～

埼玉県障害者スポーツ協会の関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成21年の新春をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

今年はこれまで築いた基礎の上に立って、将来の埼玉を見据えた県政運営に取り組んでいく決意です。

私が知事就任以来取り組んできた安心・安全な埼玉づくりの成果は確実に上がっています。民間パトロールなど地域の皆様のご協力により、犯罪発生件数は減少。交通事故死者数も大幅に減少しました。

産業振興では、企業誘致、制度融資改革、創業・ベンチャー支援などに重点的に取り組んできました。その結果、平成16年から18年の県内の事業所数が増加数、増加率とも全国2位となりました。現在の厳しい経済環境にあっても埼玉県経済は、粘り強さを見せています。

さらに昨年は、女性のチャレンジを支援するため、女性キャリアセンターをオープンしました。再び社会で働きたいなどの意欲のある女性を多角的にサポートしています。

また、新たに「彩の国みどりの基金」を設けるなど、みどりの再生への取組も始めました。

頑張る「埼玉」のエネルギーは、県内のスポーツにもパワーを与えたようです。昨年は埼玉の名前を冠して再出発した埼玉西武ライオンズが日本一を獲得。さらにアジアシリーズチャンピオンにも輝きました。

今年も埼玉県はエネルギー全開です。災害対策や福祉、医療など暮らしの安心・安全の確保に着実に取り組んでまいります。その上で、「環境」や「子育て」など埼玉の未来を見据えた取組を進めてまいります。

人類存亡の危機にもなりかねない地球温暖化は、私たちが将来のために「今」取り組まねばならない課題であり、責任です。私はそういう思いから、ライフスタイルの転換について一石を投じさせていただきました。今年、快晴日数日本一の利点を生かした太陽光発電の普及や多様な機能を持つ緑地の拡大などに集中的に取り組んでまいります。

また、水辺空間の創造や川の再生にも取り組み、目に見えるような形でゆとりと賑わいに満ちた空間を創造してまいります。

「子どもは社会の宝」といわれます。子どもの健やかな成長を助けることは、自らの社会の未来を築いていくことに他なりません。しかし、核家族化や都市化の進展などにより、子どもたちを育てる社会の力が弱まっています。学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみでたくましく心豊かな子どもを育てる仕組みづくりなどを推進してまいります。

これらの取組のキーワードは県民参加とムーブメントです。治安の回復に大きな力となった民間パトロールはまさにこの県民参加の成功例です。714万県民の皆様の手は計り知れません。私は、その力が一つにまとまり大きなムーブメントになった時、埼玉から日本を変える大きな波動が起こると考えています。

今、風は埼玉へと吹いています。今年、川越や長瀨など、埼玉を舞台にした朝のNHK連続テレビ小説「つばさ」が放映されます。テレビを通して全国の人々が埼玉に注目する絶好の機会です。私も、埼玉での成功例を、日本の未来を創るエネルギーの源`源動力`として、全国に発信していく決意です。

私たちには逆風さえも未来への大きな糧にしていく力があるはず。その力を凝縮し、「ゆとりとチャンスにあふれた埼玉県」を目指し、力強く羽ばたいていきましょう。

会長あいさつ



埼玉県障害者スポーツ協会
会長 塩浦 綾子

スポーツノーマライゼーションの 実現に向けて

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

当協会も平成16年12月に発足して5年目を迎えることとなりました。

これもひとえに、正会員、賛助会員、特別会員の皆様を始め、選手・指導者の格別なるご理解とご支援の賜ものでありまして心から感謝申し上げます。

昨年は、「彩の国ふれあいピック春季大会・秋季大会・各球技大会の開催」「全国障害者スポーツ大会チャレンジ！大分大会」への参加。特に、「全国大会」には過去最大の135名が参加することができました。その中でサッカー、バレーボール（精神障害の部）が関東大会で優勝し、全国大会で戦えたことは、埼玉の障害者スポーツの充実を示すことができ、誠に喜ばしい限りです。

また、自主事業として、「健康づくり教室」「ボッチャ教室」「水泳教室」を引き続き開催いたしました。「ボッチャ教室」については健常者も一緒に出来ることから継続化し、参加者も増加してまいりました。「四面卓球バレー」も一昨年に続いて開催し、特別会員市町村の依頼も増え、本年2月には大会を開催するまでとなりました。また、新たにチャレンジした事業として、浦和レッズハートフルクラブを招いてのフットベースボール、埼玉ブロンコスによるバスケットボール、ヨーコ・ゼッターランドさんのバレーボール及び、戸田中央総合病院チームによるソフトボール等の選抜選手強化練習会を開催いたしました。参加選手からも「改めて基礎の大切さを知った」、「全国大会目指してやる気が湧いた」、「スポーツの楽しさを学んだ」等の声が聞くことが出来ました。

自主事業での新規大会として、浦和レッズハートフルカップ「第1回スマイルサッカー大会」並びに、第1回大宮アルディージャ「ORANGE! HAPPY SMILE CUP」のサッカー大会を両球団の全面協力をいただき開催いたしました。参加選手の生き生きした動きが印象的で、新たなチャレンジを生むきっかけとなりました。

本年も上記各大会、教室を積極的に推し進めると共に、「SPORTU FOR EVERYONE」のスローガンのもと、地域のネットワーク拡大を図りながら、誰でもが“いつでも、どこでもスポーツに親しめるスポーツ・ノーマライゼーションの実現に向け”全力で取り組んでまいります。

本年も引き続きの暖かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

今年の抱負

全国障害者スポーツ大会、彩の国ふれあいピック大会に参加した選手、スタッフやこの大会を目指す皆さんから年頭にわたっての抱負が寄せられました。

感動と笑顔あふれる一年になりますようお願いを込めて、ここに紹介いたします。

埼玉県障害者フライングディスク協会
会長 中田 孝二郎

バレーボール 秋山 治子

「第8回全国障害者スポーツ大会に参加して」

チャレンジ大分大会に埼玉県選手団長として参加しましたが、三日間の大会中、準備や練習等、選手や役員の皆さんの予定表になる行動する姿に感動しながら大会を迎えましたが、135人と言う大集団が早朝から夜のミーティングまで万全の準備のもと全国の仲間と交流し友情を温められた成果は選手の皆さんにとって人生の大きな資産となった事でしょう。

特に私は立場上フライングディスク県会長として、試合を間近で観戦しておりましたが、県選手の活躍は目ざましく参加選手11人中10人がメダルを獲得するという快挙を成し、中でも昨年奪われた日本記録が奪還できた実績は高く評価され他県の代表者からも多くの祝福を受けました。

その他の多くの種目でも選手の皆さんの笑顔が見られ精一杯戦った満足感に溢れた大会であったと思います。

この感激を忘れる事なく第9回大会まで又練習を重ね強力な選手団を作りたいと願って止みません。

活躍された選手の皆さんや支えてくれた役員外関係者の皆さんに深く感謝申し上げます。

埼玉県障害者アーチェリー協会
会長 福田 孝一

去年は北京パラリンピックに燃えた1年でした。アーチェリー部門では銀メダル1個と多数の入賞を果たしました。ひとえに選手個人の努力の賜と思います。

過去における埼玉のパラリンピック参加者は南浩一選手を始め、平沢奈古選手、原口章選手と毎回選出されております。今年目標としては、「4年後に向けた選手をどう育成するか」が大きな課題です。アーチェリーの練習会場は所沢市の国リハアーチェリー場、さいたま市の障害者交流センターアーチェリー場です。個人競技ですので個々人の努力、頑張りによっている現状ですが一人でも多くの選手が輩出されることを願っています。

また、埼玉県アーチェリー協会、障害者交流センターのご支援で交流アーチェリー大会を開催しております。障害者の入賞者が一人でも多く出る事を願い今年の抱負といたします。

彩の国レッドキング選手
(20年度 県代表選手)

「新年の抱負」

今年関東大会で東京に敗れてしまいました。今年こそは東京に勝つためにいっぱい練習をして関東大会に挑戦したいです。東京に勝てるかわかりませんが一生懸命がんばります。

フットベースボール 安藤 健人

僕のフットベースでの目標は、フライをあげずにヒットを打つことと、声を出して守備をすることです。特に、声を出すことを心がけ、チーム内で声を出し合えるように意識をしています。

チームの目標は、バントとショートゴロをちゃんときめることと、50分間集中して、あきらめずに試合に取り組むことです。

かたい守備と相手にとって嫌な攻撃で今年こそ関東ブロックで勝ち、全国優勝を果たしたいです。

埼玉県障害者ソフトボール協会 高橋 淳

あけましておめでとうございます。埼玉県障害者ソフトボール協会が設立されてから5年目を迎える今年、4月にさいたま市荒川総合運動公園にて全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会(ソフトボール競技)が行われることもあり『地元開催で優勝!』を目標

に日々練習に励んでいきたいと思っておりますので、ご声援よろしくお願いたします。



平成20年男女全国大会を目指し練習に励んできました。週1回のベースでの練習でしたが「打倒東京」を合い言葉に頑張りました。11月30日に北本高校を会場に行われたバレーボール教室では、講師にゼッターランドヨーコさんを迎え、レシーブの基本やアタックを中心に丁寧にご指導いただきました。短時間でしたが、ご指導により上達した選手もでてバレーボール教室の成果がみられ良かったです。来年も関東地区代表を目指して選手・指導者一同頑張ります。

サッカー埼玉県代表 亀井 拓也



去年は、はじめて大分大会にサッカーの代表として出場することができました。大会では、先輩達に色々なことを教えていただきありがとうございます。

今年はまだ、全国大会に行って1勝したいと思います。

そのために練習を一生懸命行い、チームの中での自分の役割をしっかりとさせるように頑張りたいです。

埼玉県障害者サッカー協会
県選抜コーチ 吉田 佐知子

佐野監督とチームをつくりはじめて3年目に、念願の全国障害者スポーツ大会に出場することができました。

夢舞台では、他競技のコーチの方々に「応援には行けないけど、競技場から声援を送っているから」「決勝まで進んで！そしたら応援に行けるから」とたくさんのエールをいただき、試合に挑みました。しかし、大分の女神は私たちに微笑むことなく、初戦、PK3-4で敗れみんな涙しました。スタンドから、選手や家族、所属チームのコーチ、職場の方の応援が聞こえました。選手をはじめ私もたくさんの方々に支えられて、この大分でサッカーをすることができたのだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

選手にとっても埼玉のサッカーにとっても、今年の関東ブロック予選がキープポイントになると思います。もう一度あの夢舞台へ……。私たちの目標です。

埼玉フットサル実行委員会 in 埼玉

埼玉フットサル実行委員会 in 埼玉では、平成20年3月から精神障害者を対象としたフットサル大会を開催しています。これまでに3回の大会を開催し、延べ220名の方が参加され、試合をおこなうとともに、交流を深めています。また、平成20年11月に大阪府で開催された初の全国大会にも埼玉県から2チームが参加しました。

来年においても引き続き交流会を開催するとともに、技術向上のためにJリーグの選手から指導を受ける「フットサルクリニック」も実現させたいと考えています。これからも、皆さまからのお力添えを心からお願い申し上げます。

水泳 遠藤 けいと

明けましておめでとうございます。

私は昨年、大分県で開催された全国障害者スポーツ大会に参加して、とても楽しい時間を過ごせたので、また今年も出場できるように学業と水泳を両立し、一生懸命練習に励んでいきたいと思っております！

陸上競技 坪倉 政光

全国大会など今まで多くの大会に出場してきたが、今後はIDの世界大会を目指してがんばっていきたくと思う。100Mは常に11秒台で走れるように、また、新種目のジャベリックスローも挑戦してみたい。

日頃の練習は、仕事の休みの日に、週2回程度実施している。また、走る練習だけではなく、トレーニング室でのウェイトトレーニングなどもがんばっていきたく思います。

スポーツ大会・スポーツ教室

平成 20 年度彩の国ふれあいピックサッカー大会

さいたま市荒川総合運動公園サッカー場で 12 月 7 日、彩の国ふれあいピックサッカー大会を開催しました。11 人制で行うチャンピオンシップには 8 チーム、8 人制で行うフレンドシップには 10 チームが参加して行われました。

真っ白に雪化粧した富士山をバックに秋を思わせる柔らかい日差しを浴びながら熱戦が繰り広げられ、フレンドシップ A リーグでは 5 チーム中 3 チームが勝ち点で並び大接戦となりました。大会結果は次のとおりです。

フレンドシップの部

優勝 羽生ふじ高等学園

準優勝 FC 埼玉

第 3 位 FC 久美

チャンピオンシップの部

FC 埼玉、さいたま桜高等学校 A、FC サンライズ、うらわ SC の 4 チームが勝ち進み、優勝を懸け準決勝に挑みます。(12 月 14 日、雨天延期となり次回開催は未定)

この大会は、埼玉県選抜チームの選考会を兼ねており、この大会で選抜された埼玉チームは、4 月 5 日、神奈川県横浜市で開催される関東ブロック地区予選会に臨みます。優勝すると 10 月、新潟県で開催される全国障害者スポーツ大会に 2 年連続出場することになります。

なお、この大会には、三国コカ・コーラボトリング株式会社から全選手にアクエリアスの提供がありました。



平成 20 年度彩の国ふれあいボッチャ大会

埼玉県立スポーツ研修センターで 12 月 6 日、「平成 20 年度彩の国ふれあいボッチャ大会」を開催しました。この大会は、身体、知的、精神の異なる障害のある選手がチームを編成し、団体戦を争う大会で昨年度を上回る 24 チームが参加して行われました。

ボッチャ競技は脳性麻痺のパラリンピック正式種目として発展し、軽スポーツでありながら奥が深いことから今では子供から高齢者まで愛好者も増えています。

今大会は、海外の大会に出場した経験者も出場する競技部門と経験の浅い選手が参加して行われる交流部門で行われました。大会結果は次のとおりです。

競技部門

優勝 リハセン・ジャガー

準優勝 ふじ学園

第 3 位 ひまわり会 B

交流部門

優勝 リハセン・ライオンズ

準優勝 ふじ学園

第 3 位 ジブリ 3 号



平成 20 年度彩の国ふれあいピックバレーボール(精神障害の部)大会

平成 20 年 11 月 29 日(土)、埼玉県立武道館において平成 20 年度彩の国ふれあいピックバレーボール大会(精神障害の部)、埼玉県・さいたま市代表選考会を開催しました。

中央大会には、4 地区の予選ブロックから勝ちあがった 8 チームが出場、昨年度代表チームが 1 回戦で敗退するなど白熱した試合が各コートで繰り広げられました。決勝戦は、くしくも北ブロック同士のパワーズ埼玉対フォルテ熊谷の対戦となり、熱戦の末フォルテ熊谷が優勝しました。



優勝したフォルテ熊谷は、群馬県で開催される関東ブロック地区予選会に出場し、10 月新潟県で開催される第 9 回全国障害者スポーツ大会出場を目指します。

埼玉県知的障害者ソフトボール教室

さいたま市の浦和市営球場で 11 月 30 日、日本女子ソフトボールリーグ 1 部で活躍中の戸田中央総合病院ソフトボールチームを講師に招きソフトボール県選抜チームの強化を目的としてソフトボール教室を開催しました。

秋の柔らかい日差しを浴びる中、予定時間を遥かに越える教室となりました。

アップ、キャッチボールのあと投手、内野手、外野手にわかれ、投手は関選手らからボールの握り方、ボールをリリースの位置等投球の基本について指導を受けました。内・外野手は宮坂選手らから打球を獲る姿勢について特に細かく指導を受けました。続いて行われたシートノックでは、戸田チームの高橋三晶監督が自らバットを持ち選抜チームと戸田の選手と一緒にノックを受け、トップ選手の良い見本を近くで見ながらの守備練習を行いました。選抜チームの選手からは「動きも速いし、ボールを取ってからの送球が早いのはびっくりしました。」との声があがっていました。

最後に今シーズン新人賞を獲得した内田選手らがバッティングを披露してくれました。外野を遥かに越える 80 メートル級の飛距離と打球の速さ、バットスイングの速さには選手から感嘆の声があがりました。練習意外でもかなりバットスイング(素振り)をしているとのことと日ごろの練習の大切さを教えてくれました。

閉式にあたり伊藤良コーチから「選手のレベルの高さには驚きました。今日の練習でひとつでも覚えていただき、全国大会を目指してください。私たちもさらに練習に励み上位を目指します。21 シーズンは、埼玉で 2 回大会が開催されますので応援をお願いします。」と挨拶。参加した選手は、関東大会に向け、確かな手ごたえをつかんだようです。(埼玉チーム・コーチの話)

埼玉選抜チームは、4 月 19 日(日)、地元さいたま市荒川総合運動公園で開催される関東ブロック地区予選会に出場します。この大会で優勝すると 10 月、新潟県で開催される第 9 回全国障害者スポーツ大会に出場します。



埼玉県知的障害者バレーボール教室

11 月 30 日(日)、埼玉県立北本高等学校において、知的障害者バレーボール教室を実施しました。この教室は埼玉県選抜チーム選手の強化練習を目的に行われたものです。この日の参加者は選抜選手男女合わせて 34 名と指導者 8 名でした。体育館は、初冬の肌寒さを感じる中の準備運動が始まりました。

講師には、女子バレーボールの元アメリカ代表でバルセロナ五輪銅メダリスト、日本の実業チームで活躍されたヨーコ・ゼッターランドさんを招いてバレーボールをもう一度基礎から学び、一流アスリートの取組みを肌で感じてもらうことを目的として開催しました。

ゼッターランドさんは、「アンダーパスは雑巾を絞るように力を入れて」、「レシーブは自分の顔とボールの距離が常に同じになるように」等、プレーのコツを男女別、グループごとに基本動作からわかりやすく説明され、男女別、グループ毎に、時には個々に声を掛けながらきめの細かい指導をいただき、最後に、試合形式を行いあっという間の時間が過ぎてしまいました。選手・指導者からは、「基本の大事さを知った、これからまたやる気が出た」、「素晴らしい経験で、楽しかった」、「全国大会目指してまた頑張る力となった」との声があがっていました。

埼玉選抜チームは 5 月 31 日神奈川県横浜市で開催される関東ブロック地区予選会に出場します。

この大会で優勝すると 10 月、新潟県で開催される第 9 回全国障害者スポーツ大会に出場します。



2008 都道府県対抗障害者駅伝トライアル大会

東京都（立川市及び昭島市）の国営昭和記念公園周回コース（男子4, 6km 女子2, 3km）で11月30日、「～いま、心と夢を“たすき”でつなごう！2008都道府県対抗障害者駅伝トライアル大会（主催 社団法人NHK厚生文化事業団、財団法人日本障害者スポーツ協会ほか）」が、埼玉県を始め10チームが参加して開催されました。この大会は、異なる障害のある選手が「たすき」をつないで行く世界初の大会。埼玉県チームは、大健闘し、見事銅メダルを獲得しました。

埼玉県チームは、11月1日（土）上尾陸上競技場周回コース、11月9日（日）には大会が行われる昭和記念公園に出向いて練習会を行います。スタート時での下り、道中、ゴール付近での登り坂など現地ならではの体験をし大会に臨みました。

大会はやわらかな秋風と紅葉に囲まれ絶好のコンディションの中、午前10時15分にスタートが切られ、1区（車椅子男子）では主将の千代田選手が、パラリンピックで活躍した東京勢に食らいつき4位でたすきを渡すと2区（車椅子女子）の岡田選手が好走し順位を3位に上げました。3区の大木選手は練習をはるかに上回る走りですすきをつなぎ、4区岩附選手、5区小林選手、6区幸長選手が共に区間2位の激走で順位を3位に上げ、視覚障害者区間7区宮城選手、8区田中選手のベテラン勢が着実な走りを見せ、第1回の栄えある大会で堂々の3位入賞を果たしました。

埼玉県渡部真秀監督の話「練習から、たすきの重みを話してきましたが、選手は良く理解し、コーチや家族の暖かい応援もあり、見事にたすきをつないでくれました。チームワークの良さが3位という成績に表れたと思います。選手の健闘、スタッフのご協力に感謝します。」

駅伝トライアル大会結果

1位	東京都 A	タイム	1時間 38分 56秒
2位	東京都 B	タイム	1時間 43分 27秒
3位	埼玉県	タイム	1時間 48分 14秒

個人記録会

01位	松野 直人	タイム	07分 46秒
02位	佐々木 勇太	タイム	07分 46秒
11位	宮城 正	タイム	09分 43秒
13位	林 有希	タイム	11分 10秒

個人成績

1区	4.6km	千代田 健司	タイム	13分 27秒
2区	2.3km	岡田 亜弓	タイム	08分 27秒
3区	2.3km	大木 阿耶	タイム	14分 26秒
4区	4.6km	岩附 秀和	タイム	16分 00秒
5区	4.6km	小林 慶哉	タイム	15分 31秒
6区	2.3km	幸長 菜央	タイム	09分 37秒
7区	2.3km	宮城 好子	タイム	10分 32秒
8区	4.6km	田中 浩巳	タイム	20分 08秒



平成21年度彩の国ふれあいピック春季大会説明会

平成21年度彩の国ふれあいピック春季大会説明会を下記日程で開催します。

2月5日（木） 午前10時00分 埼玉県浦和合同庁舎 講堂
（旧 埼玉県浦和地方庁舎）

2月6日（金） 午後2時00分 埼玉県熊谷県土整備事務所大会議室

どちらか都合の良い方にご出席ください。

大会日程は決定次第「ホームページ」でお知らせします。

四面卓球バレー、県大会を開催します

四面卓球バレーは、今から20数年前、埼玉県総合リハビリテーションセンター体育科（現健康増進担当）が、リハビリテーションの一貫として考案したもので以降多くの実績を残されています。当協会でもスポーツの原点である「楽しさ」「気軽さ」等の要素を持つ四面卓球バレーに着目し、出前スポーツ教室でも取り上げてきました。今回関係者のご要望もあり、県大会を開催する運びとなりました。

楽しく、気楽に「わいわい・がやがや」できるレクリエーション・スポーツです。奮ってご参加ください。

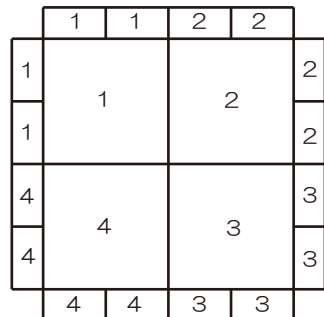
簡単にルール、ゲームの進行について紹介します。

①競技人数

・チーム人数は4人を一組とし、4チームで対戦します。

②コート

・コートは下の図のように2台の卓球台をあわせて設定します。
・卓球台の周りに指定された場所に4チーム計16人が座ります。



③ボール

・STTボールを使用します。

④ラケット

・ラケットはSTTラケットまたは、シェイク型のラケットを基本とします。（ラバーの有無は問わない）
・ラケットを作成する場合は打つ面の大きさが面の大きさが縦16cm×横17cm以内で厚さは2cm以下とします。

試合準備

・チームの代表者がジャンケンにより、順番に座る位置を決定しま

す。

・一番の選択権を得たチームがサーブ権も得ます。

試合開始

・1ゲームは5分ハーフ（ハーフタイム1分）とします。
・*試合の時間は申込状況に応じて変更する場合があります。
・この競技は失点方式です。

⑤サーブ

・サーブ権を得たチームから右回りで一人ずつサーブ権が移動します。
・サーブ権は、ボールをコート上に置き、「行きます」等のかけ声、または、ラケットをあげるなどの合図をしてから、他チームに向けて打ちます。

⑥返球

・返球は3打以内で他チームに返さなければなりません。また、返球は卓球台の上をゴロで転がることを基本としますが、バウンドしてしまった場合は、一度相手チームの卓球台に触れていればインプレイとします。
・ノーバウンドで出てしまった場合は反則となりますが、もし選手のラケットに触れた場合はそのまま競技は続行します。

⑦反則（1点が与えられる場合）

- ・オーバータイムズ 3打以内で他チームに返球できなかったとき
 - ・ドリブル 一人がボールに連続して2回触れたとき
 - ・ホールディング ボールを押さえたり押しついたりしたとき
 - ・ストップボール 触れたボールがコート上で止まったとき
 - ・ボールアウト 自チームのコート上からボールが落ちたり、打球がノーバウンドでコートから出るなど、ボールがアウトになったとき
 - ・ボディボール コート上でボールがプレイヤーに当たったとき、ラケットの範囲外で打球したとき：ラケットの範囲とは、ラケット及びラケットを保持する手首まで
 - ・サーブミス 正規のサーブが行えなかったとき。また支柱に当たったとき
 - ・スタンディング 競技者が椅子から腰をうかしたとき
- *競技規則作成にあたり埼玉県総合リハビリテーションセンター健康増進担当のご指導をいただきました。



賛助会員・特別会員の皆様

私たちのスポーツ活動を暖かくご支援くださる
賛助会員（企業・団体）・特別会員（県内市町村）の皆様を紹介します。

○賛助会員（1月1日現在 67団体）

青木信用金庫	埼玉田中電気株式会社	株式会社トーシンパートナーズ
曙ブレーキ工業株式会社	埼玉トヨペット株式会社	永山建設株式会社
旭科学株式会社	株式会社埼玉ブロンコス	日酸TANAKA株式会社
イコマ埼玉株式会社	株式会社 埼玉りそな銀行	日本信号株式会社
浦和ロイヤルパインズホテル	斎藤工業株式会社	株式会社パーパス
エーザイ株式会社	株式会社 サイドー	橋本自動車部品株式会社
株式会社中央印刷社	株式会社 島村工業	株式会社ピックルスコーポレーション
株式会社 大貫工務店	株式会社 昭和工業	北辰図書株式会社
金本建設株式会社	シン建工業株式会社	前田印刷株式会社筑波支店
川口信用金庫	株式会社 新研設備工業	前田食品株式会社
関東自動車株式会社	新電元工業株式会社	三国コカ・コーラボトリング株式会社
共栄企画株式会社	税理士法人 しんわ経営会計	ムサシノ機器株式会社
株式会社 グリーン企画社	株式会社 住田光学ガラス	株式会社 武蔵野銀行
株式会社 サイサン	関口建設工業株式会社	株式会社メイコー・明高堂
株式会社 サイゼリヤ	株式会社タイコー興業	株式会社 森島工務店
埼玉グラフ株式会社	太平ビル管理株式会社	八千代工業株式会社
社会福祉法人	株式会社太陽商工	山三電機株式会社
埼玉県身体障害者福祉協会	田中電気株式会社	株式会社ヨコハマタイヤセンター関東
埼玉縣信用金庫	株式会社タナベ建設	ライン企画工業株式会社
社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会	積田冷熱工事株式会社	株式会社リサイクルアシスト
埼玉県発達障害福祉協会	デジコム株式会社	株式会社 和幸製作所
さいたま商工会議所	株式会社テレビ埼玉	
財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団	東神システム株式会社	
埼玉測量設計株式会社		

○特別会員（1月1日現在 県内 62市町村）

川越市	熊谷市	川口市	行田市	秩父市	所沢市	飯能市	加須市	本庄市	東松山市
春日部市	狭山市	羽生市	鴻巣市	深谷市	上尾市	草加市	蕨市	戸田市	入間市
鳩ヶ谷市	朝霞市	和光市	桶川市	久喜市	北本市	八潮市	富士見市	三郷市	蓮田市
坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	日高市	吉川市	伊奈町	三芳町	毛呂山町	越生町	滑川町
嵐山町	小川町	としがわ	川島町	吉見町	鳩山町	横瀬町	皆野町	長瀨町	小鹿野町
東秩父村	美里町	神川町	上里町	寄居町	北川辺町	宮代町	白岡町	菖蒲町	鷲宮町
杉戸町	松伏町								

賛助会員募集

埼玉県障害者スポーツ協会は、皆様の会費によって運営されています。障害者のスポーツ活動を普及・充実をはかるには多くの皆様のご理解とご協力が必要です。ぜひとも、賛助会員として、皆様のご支援をよろしくお願い致します。

賛助会員（個人） 1口……………1,000円

賛助会員（団体・企業） 1口…5,000円

賛助会費振込口座番号

振込先名義：埼玉県障害者スポーツ協会

① 武蔵野銀行さいたま新都心支店

普通口座 020720

② 郵便局

振替口座 00190-6-559638

ご入会に際しての資料請求、ご質問は当協会までお気軽にお問い合わせください。